

北信圏域 特別支援教育コーディネーター調査

H21.2.7

北信発、WEコラボ フォーラム

目的

本調査では、特別支援教育コーディネーターの関係機関との連携・協働についての意識と、教育と福祉の連携実践である「特別支援教育連携協議会と自立支援協議会・療育支援部会の同時開催」に対する感想を把握し、今後の連携推進の方向性を検討する基礎資料を得ることを目的とする。

調査対象・回収状況

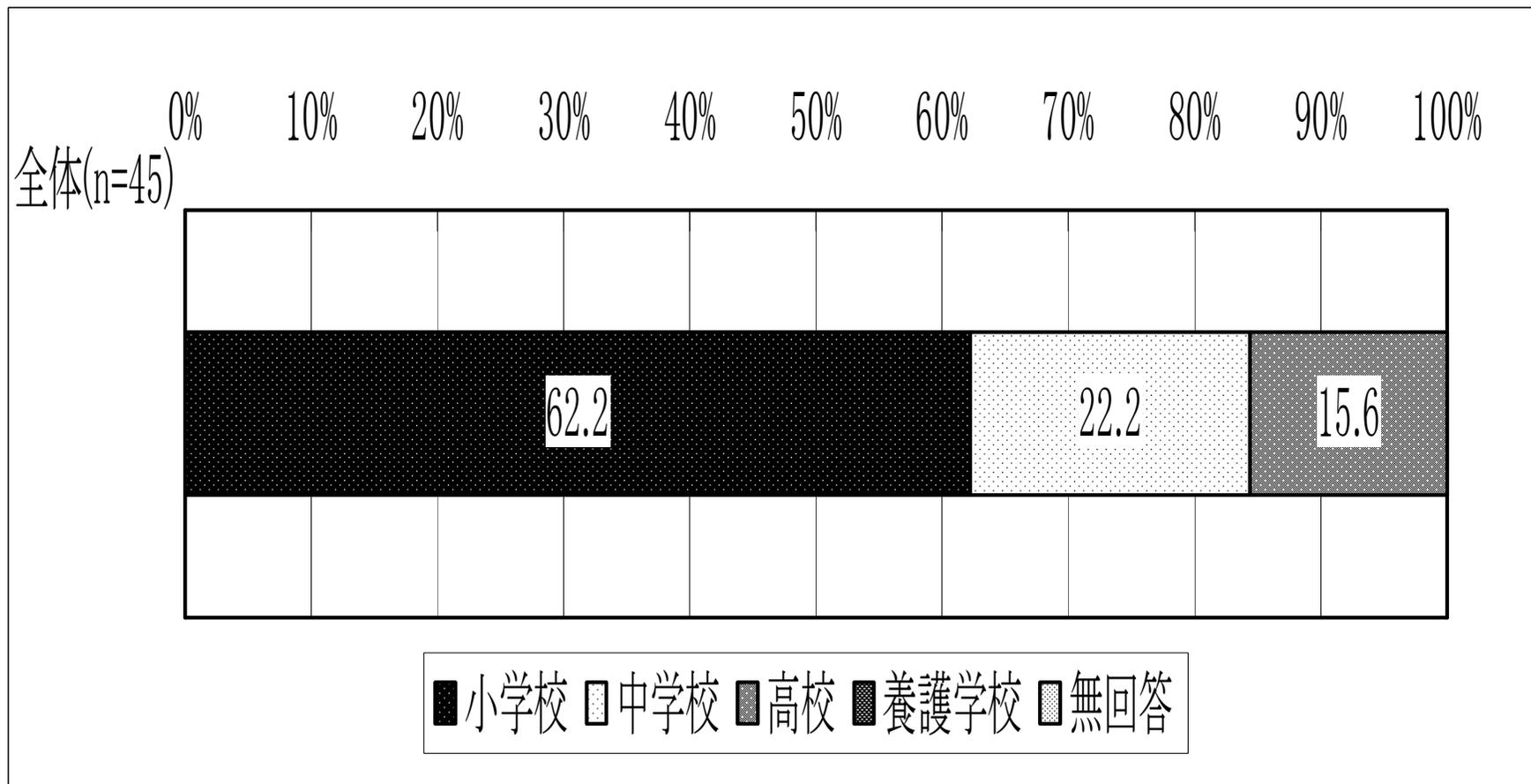
北信圏域に所在する学校の特別支援教育コーディネーターを対象に調査を実施した。

	配布数	回収数	回収率
小学校	30件	28件	93%
中学校	11件	10件	90%
高校	9件	7件	70%
合計	50件	45件	90%

集計結果

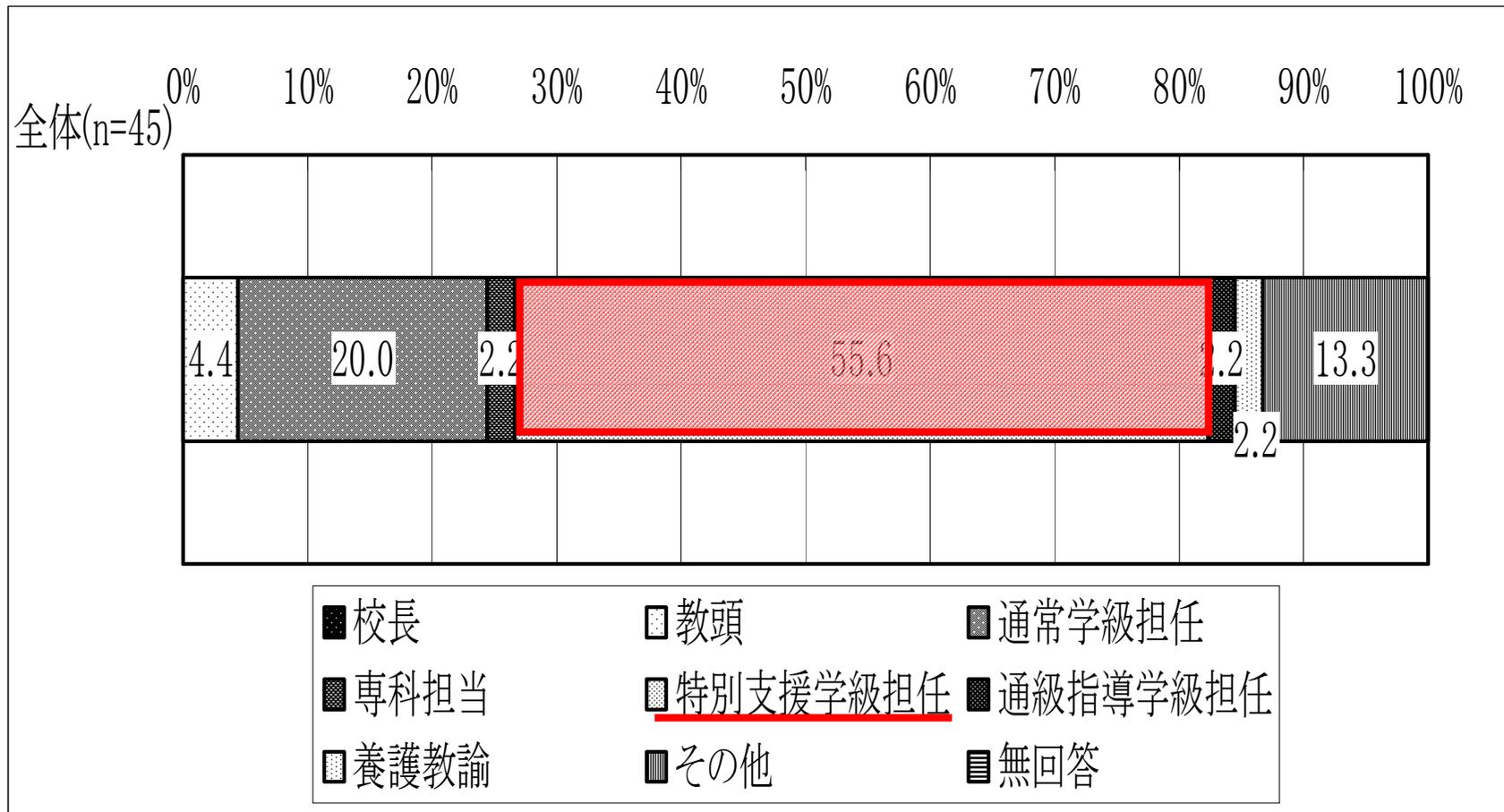
基本情報

● 学校種別

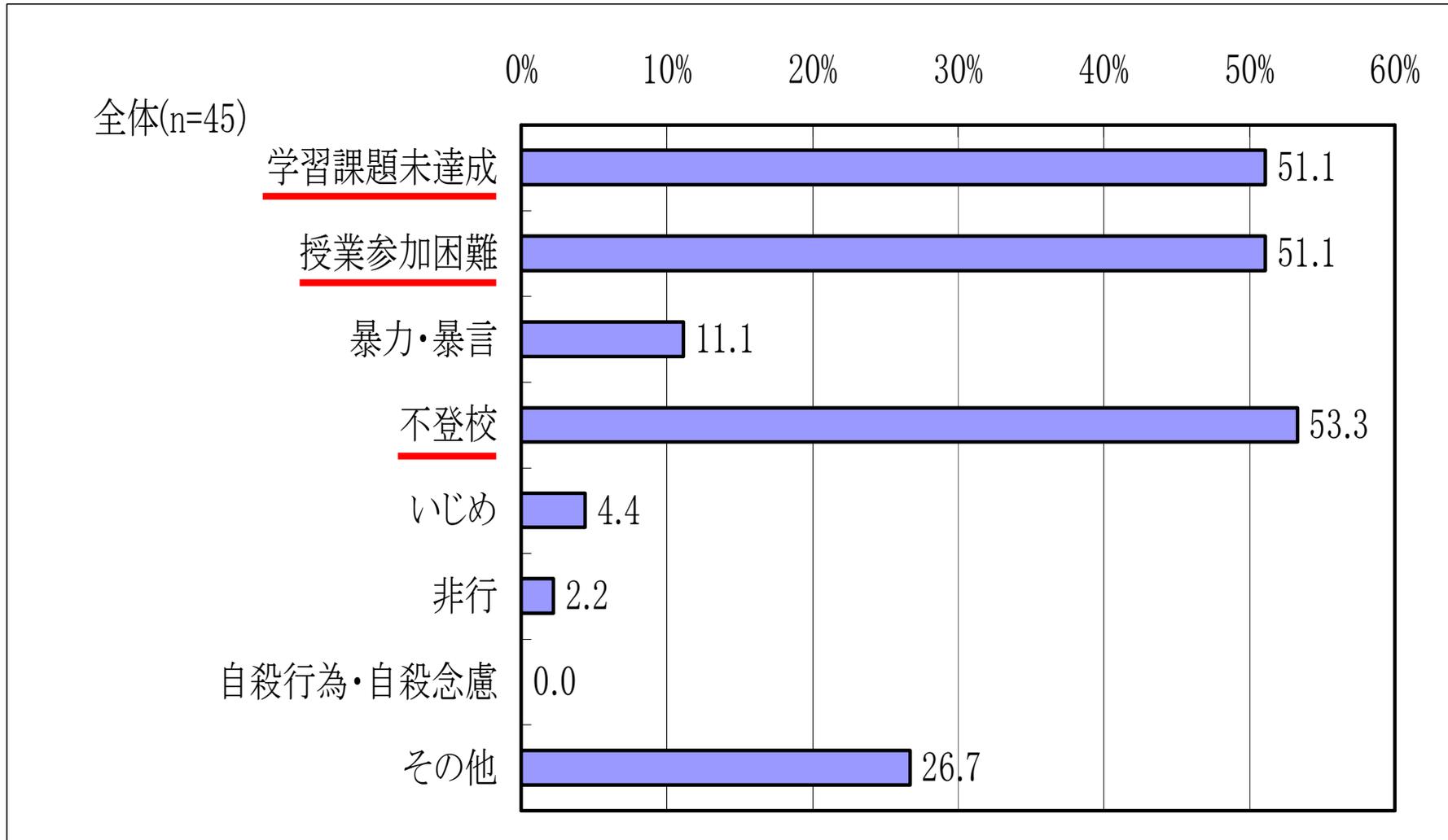


基本情報

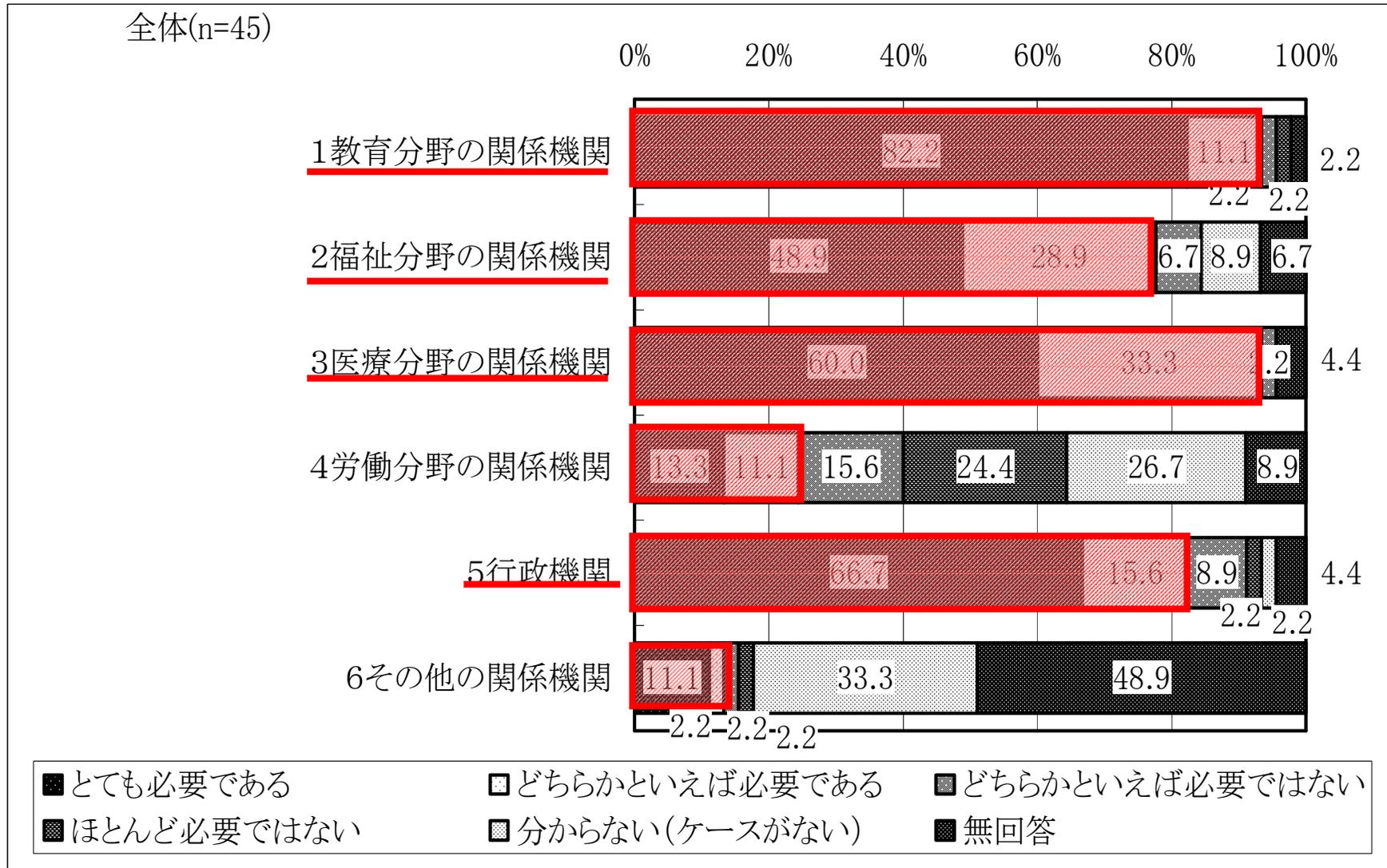
● 回答者の役職



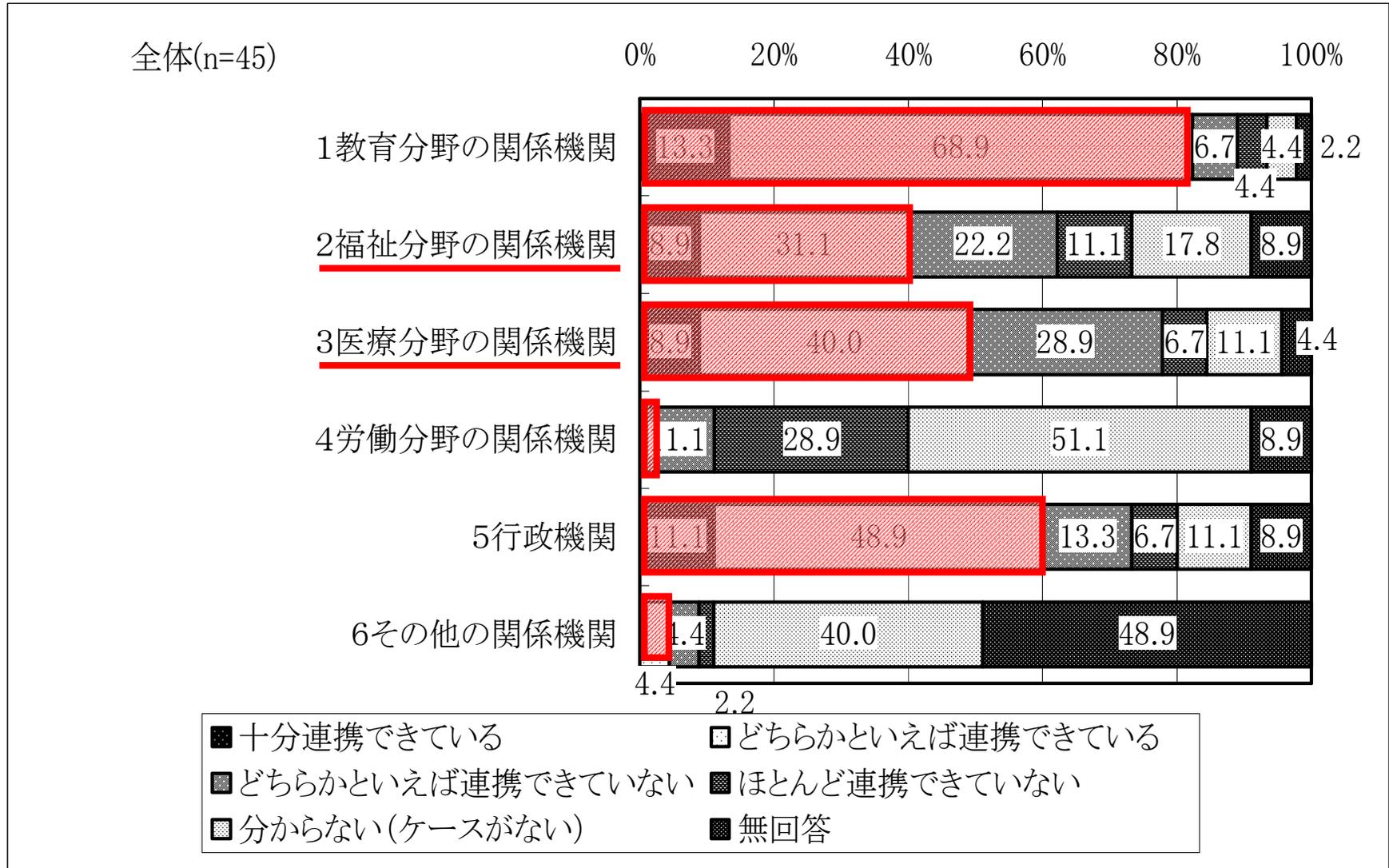
関係機関との連携のきっかけ



関係機関との連携の必要性



関係機関との連携の現状



必要性と現状のギャップ ～福祉分野～

●連携できない理由・課題

- 情報が無い
- 年に数回しか来ない・機会が少ない
- どのように連携すればいいのかわからない
- 連携して何ができるのかわからない
- 支援会議はしているがいまいち深まらない・時間の割に中身が無い

必要性と現状のギャップ ～福祉分野～

●連携ができた理由・工夫点

- 相手の機関の担当者を知っていることで連携が取りやすい
- 今のところ連携の必要な子がいなくてあまり連絡を取っていないが、必要に応じて声をかけてもらっている

必要性と現状のギャップ ～医療分野～

●連携できない理由・課題

- 保護者の理解が得られない・守秘義務
- 保護者を介しての情報しか入ってこない
- もらった情報をうまく支援につなげられない
- 医療機関の人は忙しい
- リハビリの見学はしているが、支援会議に参加してもらうのは難しい

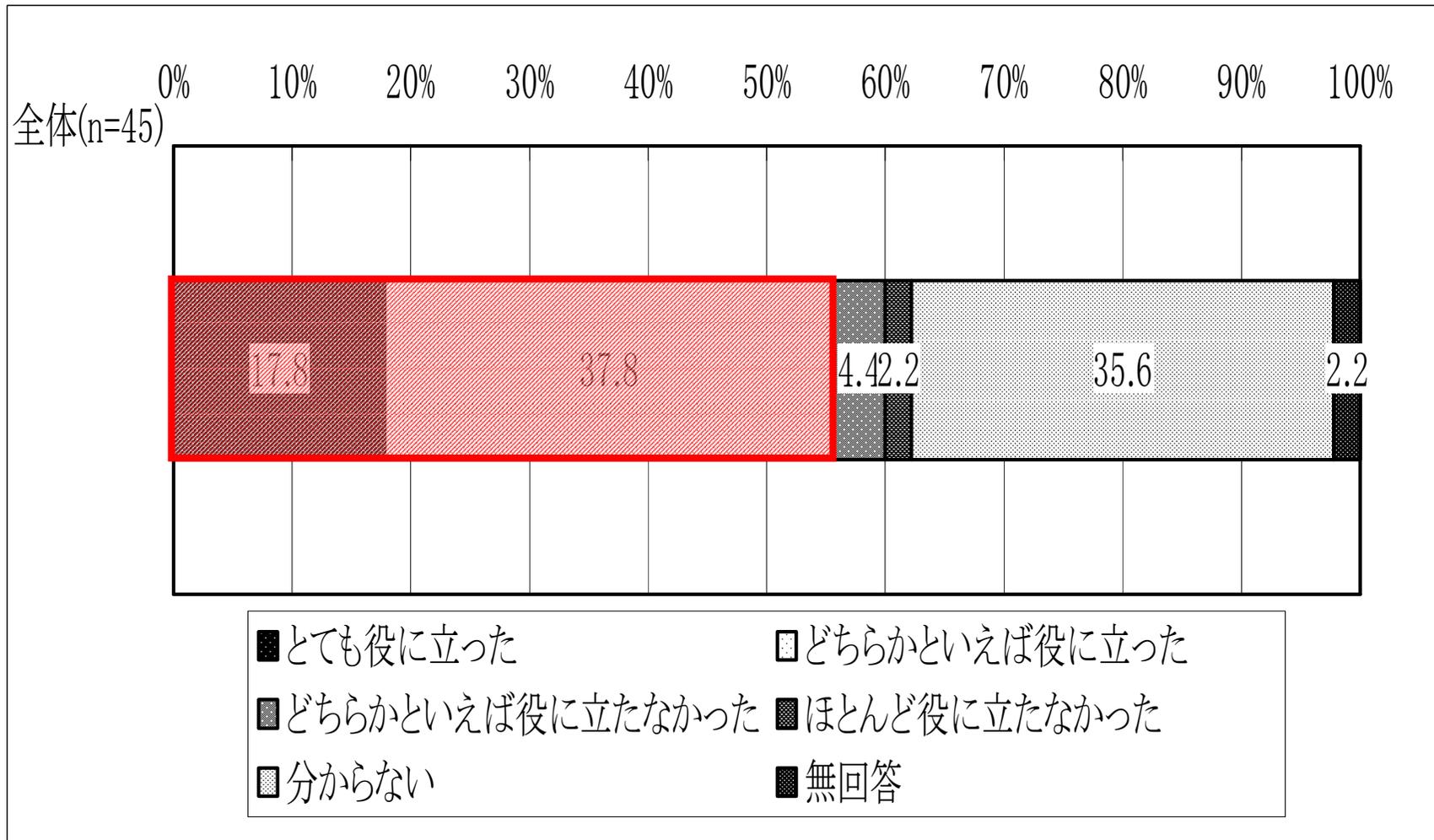
必要性と現状のギャップ ～医療分野～

●連携できた理由・工夫点

- 学校での様子を医師に知らせ、相談している
- 受診に保護者と一緒に行き、一緒に話を聞くようにしている
- 相手の機関の担当者を知っているので、関係が取りやすい

特別支援協議会と自立支援協議会・
療育支援部会」の同時開催について

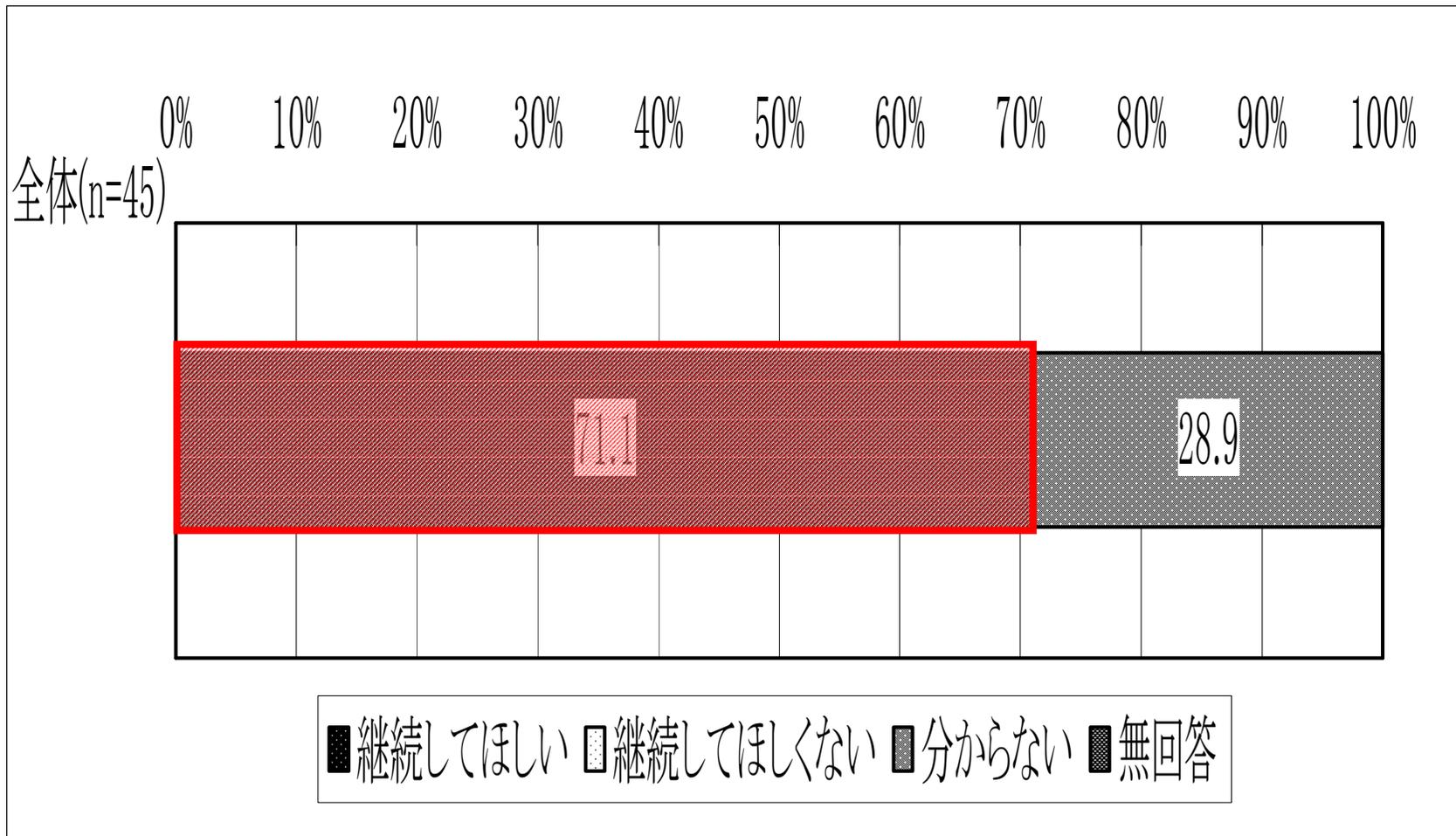
特別支援教育連携協議会と地域自立支援協議会の同時開催に対する評価



同時開催が役に立ったと感じた理由

- 関係職員と顔見知りになれた。その後スムーズに連携できるようになった。
- 連携の仕組みがわかりネットワークが広がった。どのような機関とどのような時に連携すればいいのかわかった。
- 特別支援教育に関するいろいろな情報が入手できた。
- 個別のケースについて相談ができた。

今後の希望



取り上げてほしい内容

- **定期的な情報交換会・勉強会**

特別支援教育の実態(教育分野だけの連携の限界)を地域の関係者に共有してほしい。保護者に対しても情報発信できる機会があるといい。

- **関係機関の相互訪問**

顔に見える関係を作りたい。
機関同士の共通理解を深めたい。

- **具体的な支援事例の紹介**

どのような支援のあり方があるのか実践例を知りたい。